

公益社団法人鯉沢法人会 令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I、概 況

令和4年度は、新型コロナウイルスの終息が望まれる中、**一部事業の縮小**を余儀なくされたが、**税に関する啓発活動・社会貢献活動等に積極的に取り組んできたところである。**

また、税務行政への協力及び啓発活動の一環として、e-Tax（国税電子申告・納税システム）については、あらゆる機会を通じて普及・啓発活動に努めた。事業区分ごとの詳細は以下の通りであった。

II、主な事業

公益関係

1、税に関する公益事業

(1) 説明会・研修会等事業

①税に関する説明会等の開催

(イ) 税に関する講演会 11月22日開催 (80名参加) (対象は、会員・一般)

テーマ：「税金裁判のはなし」

講師：鯉沢税務署 中村芳一 署長

(ロ) 新設法人説明会 8月1日開催 (5名参加) (対象は、新設法人)

テーマ：「法人税・消費税・印紙税及び源泉所得税の基本的な仕組みについて」

講師：鯉沢税務署担当官

(ハ) 決算法人説明会 4回開催【6月9日・9月9日・1月13日・3月17日】

(計56名参加) (対象は、決算月毎・一般)

テーマ：「決算・申告の実務」

講師：鯉沢税務署担当官・東京地方税理士会甲府支部所属税理士

(ニ) 相続税講座 12月2日開催 (8名参加) (対象は、役員・一般)

テーマ：①「中小企業経営者の相続対策について」

②「税務署からのお知らせ」

講師：鯉沢税務署担当官・東京地方税理士会甲府支部所属税理士

(ホ) 支部別税務研修会 5ヵ所開催 (89名参加) (対象は、会員・一般)

テーマ：①「インボイス制度について」

②「税務署からのお知らせ」

講師：鯉沢税務署担当官

②上記説明会等において、全法連が作成・発行する税関係テキスト等の**使用及び配布**を行った。

※上記の説明会・研修会の参加募集については、ホームページでの公開や会報誌等を活用するなど広く一般より参加を募った。

(2) 税制提言事業

①令和5年度税制改正要望事項の作成及び提出

全法連作成の「税制改正に関するアンケート調査」を会員に配布し、意見を募った。
アンケート調査は全法連に提出した。

アンケート調査実施時期：令和4年4月15日

全法連集計結果：36社(通常版 36/93・回答率 38.71%)

②税制改正要望活動の実施

全法連において決定した令和5年度税制改正要望事項の実現に向けて、鯉沢税務署管内自治体を訪問して税制改正要望活動を実施し、地域の活性化に向けた税制改正への協力を要請した。

また、全法連において決定した令和5年度税制改正要望事項は、ホームページに掲載し広く一般に公表した。

要望先：市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町及び各町議会

実施日：令和4年11月11日～11月29日の間

(3) 啓発・広報事業

①「小学5年生の税に関する絵はがきコンクール」の募集

管内17校の5年生299人中193人の応募があり、30点の入賞作品を選定した。

「小学6年生の親子で考える税に関する標語コンクール」の募集

管内17校の6年生315人中295人の応募があり、34点の入賞作品を選定した。

11月22日、税を考える週間に於いて保護者同伴にて表彰式を行った。

欠席者については、後日当会委員の方々がそれぞれ手分けして、賞状・記念品・参加賞・入賞者名簿(冊子を作成)等を各学校に持参し生徒に受け渡した。

また、優秀作品は、広報誌「富士川」並びに当会のホームページに掲載し、鯉沢税務署をはじめ峡南5町の役場、支所、金融機関、身延・南部各町の文化会館、当法人会等19カ所に、各学区ごと掲示した。

②広報誌「富士川」の発行、配布

第97号 令和4年8月 1,000部発行(配布部数 930部)

第98号 令和5年1月 1,100部発行(配布部数 930部)

年間発行部数 2,100部発行(配布部数 1,860部)

※全頁をホームページに公開し、税知識の高揚と地域の活性化に寄与した。

※配布先(備え置き先)

法人会正会員・賛助会員、鯉沢税務署、管内の小・中学校、高校、5町の役場各支所、5町教育委員会、商工会、金融機関、病院、郵便局、県民センター受託生保会社、税理士会等に送付した。

③「e-Tax」（国税電子申告・納税システム）の利用促進について、諸会議等の会場において積極的に啓蒙した。

また、「確定申告の納付期限」等の懸垂幕や、ポスター等を法人会館内及び外壁に掲示して一般への広告塔の役割を果たした。

④租税教育活動の実施

鯉沢税務署の担当部署との連携を密に、税理士会の指導・協力をいただき、青年部会が中心となり女性部会との合同で、管内の小学校において租税教室を実施し税に対する関心を深めてもらった。

○租税教室

日 時	場 所	対 象
令和4年4月26日	市川三郷町立市川小学校	6年生 55名
令和4年5月13日	南部町立富沢小学校	6年生 17名
令和4年6月24日	南部町立栄小学校	6年生 11名
令和5年2月17日	南部町立睦合小学校	6年生 15名

⑤税の啓発用小冊子の配布

税に関する関心と理解を深めることを目的として、全法連発行の税の啓発用小冊子（タックスフントとけんたくん）を管内の小学校の生徒に配布した。

⑥広報誌及びホームページ等の活用

税知識の普及・啓発のため当会の広報誌「富士川」やホームページ及びマスコミを活用し、e-Tax（国税電子申告・納税システム）並びに「消費税の期限内納付推進」の普及・啓発を行った。また、会員を含め広く一般にも役立つ各種講演会・研修会等の開催を告知し参加者を募った。

⑦税制・税務に関する小冊子（ほうじん他数種類）の配布

2、地域への社会貢献に関する公益事業

①「峡南地域社会貢献事業」

ウィズコロナを見据えた新たな社会貢献活動として、中部横断自動車道の山梨・静岡間の全線開通を機に、両県が相互に交流を深め、特徴ある地域づくりを目指す推進活動の一環として以下の事業を行った。

富士川クラフトパーク・バラ園にて開催中の「バラまつり」の来客者を対象に、クイズ形式の青空租税教室を開催し（参加者にはプレゼントを贈呈）、また風船や両県に関するパンフレット、税に関するチラシ等の配布を行うとともに、会員相互の親睦と、支部組織の活性化を図った。

実施日：5月22日（日）

場所：身延町 富士川クラフトパーク「バラまつり」会場

青空租税教室参加者：28人

②地域内の他団体との連携を密にし、活性化に繋がる事業に対し協力し、広報活動を通じて広く周知することで地域の活性化に寄与した。

③地域経済の活性化及び企業経営・経済・文化・伝統工芸等の支援・振興に講演会・セミナーの開催。

イ、(開催日) 令和 4 年 5 月 19 日

(テーマ) 「国税庁の使命と税務署の仕事」

ロ、(開催日) 令和 4 年 11 月 22 日

(テーマ) 「中小企業の防災・減災対策セミナー」

ハ、(開催日) 令和 5 年 1 月 27 日

(テーマ) 「キャン・ユースピーク 甲州弁？」

会場はいずれも、身延町 下部ホテル

④社会福祉支援事業

全会員参加型の社会貢献活動として、総会や法人会関係の行事に参加する会員に対し、清拭布(タオル)持参の呼びかけを行い、清拭布を寄贈した。

寄贈日：令和 5 年 3 月 28 日 寄贈先：富士川町社会福祉協議会

3、収益・共益関係

(1) 会員の福利厚生等に関する事業

①生命保険・損害保険の紹介及び事務取扱等の福利厚生事業（相互扶助等事業）

法人会の貴重な財源である法人会福利厚生制度商品を積極的に推進した。

②企業の様々なリスクをサポートするため地震対策プラン及び、がん保険の普及促進を行った。

各比率、実績等については下記の通り。

◎経営者大型保障制度 役員加入率 令和 5 年 2 月末現在

目標・役員加入率	現状の役員加入者数	現状の役員加入率
70%	20 社	62.5%

◎経営者大型保障制度 加入状況

	令和 4 年 12 月末	令和 3 年 12 月末	前年対比	前年対比
加入法人数	107 社	108 社	▲1 社	99.0%

◎経営者大型保障制度 新規企業推進状況 令和 4 年 12 月末現在

新規目標	新規企業数	達成率	内・大同の扱い	内・AIG 扱い
3 社	3 社	100%	3 社	0 社

各受託会社の法人会福利厚生制度商品の内訳

○ 大同生命保険（経営者大型総合保障制度）

	令和 4 年 12 月末	令和 3 年 12 月末	前年対比	前年対比
保険料総額	84,420 千円	85,520 千円	▲1,100 千円	98.7%

○ A I G 保険会社（ビジネスガードシリーズ）

	令和 4 年 12 月末	令和 3 年 12 月末	前年対比	前年対比
加入法人数	45 社	38 社	7 社	118.4%
加入件数	53 件	49 件	4 件	108.2%
保険料総額	17,691 千円	14,556 千円	3,135 千円	121.5%

○ アフラック（がん保険・医療保険制度等）

	令和 4 年 12 月末	令和 3 年 12 月末	前年対比	前年対比
加入法人数	77 社	68 社	9 社	113.2%
加入件数	182 件	151 件	31 件	120.5%
保険料総額	12,839 千円	13,435 千円	▲596 千円	95.5%

（２）会の組織力強化・拡大と会員相互の親睦・交流等に関する活動

①会員の状況

今年度も支部役員を中心に増強目標 11 社（賛助会員含む）を掲げ、加入勧奨を実施した。しかし正会員については転廃業・休業等の原因による退会が依然として多かった。また賛助会員の増強においてもコロナ禍の影響により、厳しい経済状況が続く中、達成には至らず積極的な努力も目標には及ばなかった。

令和 4 年度 会員数表

期首会員数 (令和 4 年 4 月 1 日)		期中 入会	期中 退会	期末会員数 (令和 5 年 3 月 31 日)	
正 会 員	451	6	7	正 会 員	450
賛助会員 法人・個人	22	2	3	賛助会員	21
合 計	473	8	10	合 計	471

②支部役員会並びに実行委員会等の会議を下記の日程で開催した。

- (イ) 令和 4 年 10 月 5 日 早川支部役員会
 - (ロ) 令和 4 年 10 月 6 日 下部支部役員会
 - (ハ) 令和 4 年 10 月 21 日 増穂・鯉沢の 2 支部合同役員会
 - (ニ) 令和 4 年 10 月 26 日 市川・三珠・六郷の 3 支部合同役員会
 - (ホ) 令和 4 年 11 月 5 日 南部・富沢の 2 支部合同役員会
 - (ヘ) 令和 4 年 6 月～令和 5 年 3 月 各支部にて役員会を開催した。
- ・今年度目標達成に向け、協力 3 社との連携をさらに強化し、法人会福利厚生制度の加入増と収入保険料の増加及び会員拡大目標等の活動方針を決定した。
 - ・全法連及び鯉沢税務署担当官の協力を得、未加入法人名簿及び業種別、支部別、加入勧奨のための名簿を活用し支部役員を中心に積極的に推進した。

③本会及び支部における親睦・交流会を下記のとおり開催した。

令和4年 4月22日 理事会の開催

令和4年 5月19日 「第11回定時総会」の開催

令和4年 8月24日 理事会の開催

令和5年 1月27日 「新年賀詞交歓会・講演会」の開催

「講演会」参加人員 : 51名

テーマ : 「キャン・ユー・スピーク 甲州弁？」

講師 : 甲州弁愛好家 五緒川 津平太 氏

令和5年3月9日 理事会の開催

④青年・女性部会の活動

研修会の開催、社会貢献活動の実施、部会員相互の交流会などを開催したほか、全法連主催のセミナーや本会及び県連の各種活動に積極的に参加した。

○青年部会（主な活動）

令和4年 6月7日 青年部会全体会議の開催

令和4年 9月10日 県連4単位会共催・VF甲府少年サッカー・税金教室に協力

令和4年 10月7日 東京局連3県連部会長サミットに参加

令和4年 11月24～25日 第36回全国青年の集い沖縄大会に参加

・青年部会会員状況

令和4年4月1日現在	入会	退会	令和5年3月31日現在
46名	2名	1名	47名

○女性部会（主な活動）

令和4年 4月14日 全国女性フォーラム静岡大会に参加

令和4年 5月26日 役員会の開催

令和4年 6月17日 女性部会総会の開催

令和4年 8月26日 役員会の開催

令和4年 9月21日 絵はがきコンクール審査、
もったいない運動ポスター作製・袋配布

令和4年 11月29日 女性部交流会に参加

令和5年 3月28日 富士川町社会福祉協議会へ清拭布贈呈

・女性部会会員状況

令和4年4月1日現在	入会	退会	令和5年3月31日現在
76名	2名	1名	77名

⑤「法人会提携ローン」の推進

平成 22 年度に山梨中央銀行、山梨信用金庫、山梨県民信用組合と提携し、鯉沢法人会会員利用限定融資として創設した「法人会提携ローン」を推進した。

⑥山梨県連主催の講演会に参加・協力

新春講演会の開催

日 時 : 令和 5 年 1 月 23 日

場 所 : 甲府記念日ホテル

参加人員 : 9 名

テ ー マ : 「世界、日本、そして地方の経済はどうなるのか？」

講 師 : 京都大学大学院 工学研究科 教授 藤井 聡 氏

⑦法人会ポスターの送付

法人会の会員募集及びPRのため、全法連作成のポスターを会員に送付し事務所等へ掲示を依頼した。

Ⅲ、法人管理運營業務

(1) 外部会議への出席

①鯉沢税務署主催の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
令和 4 年 6 月 8 日	税務懇和会	鯉沢税務署	小林副会長、事務局内藤
令和 4 年 8 月 3 日	税務懇和会	鯉沢税務署	小林副会長、事務局内藤
令和 4 年 9 月 26 日	税務懇和会	鯉沢税務署	山本会長、事務局内藤
令和 5 年 1 月 17 日	税務懇和会	鯉沢税務署	山本会長、事務局内藤
令和 4 年 11 月 14 日	納税表彰式	鯉沢税務署	鯉沢法人会役員 14 名

②外部団体の総会等

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
令和 4 年 7 月 26 日	リニア中央新幹線建設促進協議会総会	甲府記念日ホテル	山本会長 佐野副会長 保坂副会長 小林副会長 依田専務理事
令和 4 年 9 月 8 日	中部横断自動車道経済懇談会総会	長野県上田市上田東急 REI ホテル	山本会長 保坂副会長 小林副会長

(2) 内部会議

・令和4年5月19日開催の第11回定時総会をうけて、会務運営のための内部会議を開催した。

・期中を通して理事会3回(4/22・8/24・3/9)、正副会長会2回(12/26・1/11)、総務委員会3回(4/18・5/25・10/4)、税制委員会2回(5/12・9/29)、研修委員会1回(5/9)、広報委員会4回(5/16・7/25・10/17・12/5)、組織厚生委員会1回(8/1)を開催した。また11支部による役員会等を開催した。